

賀正



館報 まつかわ

令和6年 元旦
松川町公民館報
第722号

第20回
全国印章技術大競技会
木口密刻の部 銅賞受賞作品
(作:久保田光毅さん(上新井))



妙泉寺

左の写真は、新井南鄙にある妙泉寺の本堂の天井に描かれている八方睨みの龍の絵です。絵の隅に作者の名前が記されており、日蓮宗とかかわりの深かった狩野派によるものではないかということですが、いつ、どのような経緯で描かれたものか詳しいことはわからないそうです。

龍に九似あり

しかし、江戸時代から残るとされるこの絵の迫力は、今も当時のまま残っています。

龍に九似あり（似ている箇所が九つあるということ）。龍の姿を形容した表現があり、「角は鹿、頭は駱駝に、目は鬼、項は蛇、腹は蟹、鱗は鯉、爪は鷹、掌は虎、耳は牛」に似ると言われています。



手水舎の龍の蛇口

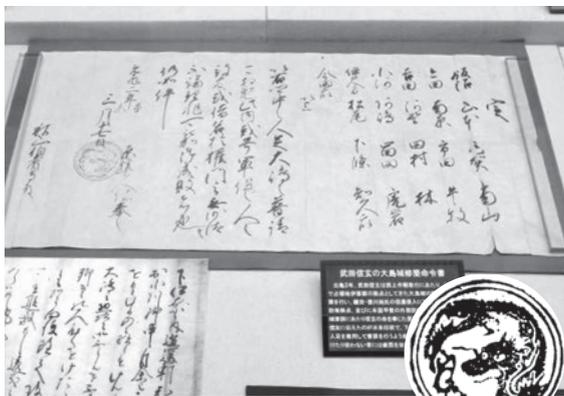
命をつなぐ水は尊いものであり、神道（自然信仰）では穢れや邪気を祓う神聖なものとされています。

神社や寺の手水舎で左手、右手と水をかける行

為は、心身を清めるためのものであり、この水を「龍神から出ている水」と見せることで「神聖な水」であることを表現していると考えられています。



武田信玄朱印状（複製）



松川町資料館には、元龜2年（1571年）に大島城（台城）の大改造を命じた武田信玄の朱印状の複製が展示されています。その当時、武田信玄が使用した龍朱印をはっきりと見ることが出来ます。

新調された四神旗

天王諏訪神社
(中山)

今年の干支「辰」にちなみ中山の天王諏訪神社の神旗、青龍の取材をお願いしたところ劣化が進んだので新調されたとのこと。

編集部では平成22年の寅年に白虎を紹介させていたこともあり、新調された四神旗の取材に伺いました。

大晦日の雨も止み、新年の陽光のなか本殿目指して坂を登ります。ちょっと急な石段で鳥居をくぐると、冷たい空気を忘れるくらい焚火が見えてホッとしました。

本殿では、四神旗が風に揺れ、元旦祭での御披露目を待ちます。

この四神旗が天王諏訪神社にある理由ははつきりしていないようですが、新調の旗は新年の光の中輝いていました。

今年は神旗の新調に合わせ餅投げが行われ、訪れた方達が拾われていました。

(以前の旗も貴重な資料となるため保存方法を考え中とのことです)



東方位 青龍



西方位 白虎



南方位 朱雀



北方位 玄武



祝いの餅が投げられる

龍を宿す石碑



(町谷)

(福与)

九頭龍大権現

九頭龍とは、洪水のときの河川の荒れ狂う様子を九頭の龍の姿に見立てたものと考えられ、ここに九頭龍大権現をまつたのは水の猛威を鎮め、田畑を洪水から守ることを祈ったことと考えられます。なお、九頭龍信仰のものは、長野県の戸隠神社奥社の九頭龍大権現と考えられ、古くから豊作をもたらす神として信じられてきました。

八大龍王

八大龍王とは、雨乞いや海難など、水に関する神様8人。八大龍王・難陀、跋難陀、娑羯羅、和修吉、徳叉迦、阿那婆達多、摩那斯、優鉢羅、の総称で、全国各地にまつられています。

今年の干支【辰】



(北名子)

(北垣外)

年賀状やカレンダーを見ると、その年の干支をデザインしたものが多くですね。また、生まれた年を干支で示すことも稀ではありません。干支は現在も我々の生活と密着したところで生かされていると思います。現在は十二支(子・丑・寅・・・)だけが意識されていますが十干(甲・乙・丙・・・)と十二支が組み合わせられたものでその組み合わせは60で一周することになります。

今年の干支は、十干「甲」十二支「辰(龍)なので甲辰年です。十二支の中で辰(龍)だ

けが架空の動物なのか？不思議ですよ。

これについてもはつきりとした理由はわかっていません。「本来干支の各文字に動物は関係なかったのに、あとから同音の動物を紐づけたせいで架空の動物が入ってしまった」という説や、「龍という文字に鱧の意味もあつたので、そもそもは龍ではなく鱧を指していた」とするなどいくつもの諸説があるようです。

龍は古来より中国で権力の象徴とされ、縁起の良い生き物とされています。干支を広く浸透させるために、縁起が良い龍を干支に選んだのかもされませんが、龍は鳳凰や麒麟、霊亀の様に想像上の動物です。胴体は蛇、頭には鹿のそれに似た角が2本あり、口のところに長いひげを生やし、背には81枚の堅い鱗をもち、4本の足にはそれぞれ5本の指を備えた巨大な爬虫類として描かれています。





講師の山崎公民館長



作ってみました！ 地域を知る講座 × まつかわ講座

正月飾り

12月16日えみりあ一階の会議室で、正月飾りづくりの講座が開かれました。
正月飾りは、歳神様としがみさまに来ていただくための目印で歳神様が滞在されるお飾りです。
しめ縄は、これより先は神様のおられる清浄な場所だと示すためのものといわれ、魔除の意味もあるそう。
では、用意された藁わらを使って作ってみましょう。



この藁は、事前に関係者の方達によって、すぐる作業をされていて扱いやすくなっています。
山崎公民館長の説明は大変わかりやすく、昔に経験したおやす作りも、聞いているうちに思い出しました。
参加者の皆さんは、それぞれ作りたい飾りを決め、館長



お正月飾りもシヨップやネット注文で手に入りますが、自分で作ってみるのも感慨深く思い出に残るものではないでしょうか。



の助言で作りを進めていきましたが、質問の声があちこちで上がり館長は大忙しです。

私は左縄ひだりなわを教えるもらったのですが、3分もしないうちに大後悔！経験者の皆様とは掌が違う！のだと思いが知らされました。その左縄も館長から簡単にできる方法が紹介され、2時間あまりで何点も作られる受講者がいらつしやるなど和気あいあいのなかで終わることができました。



北小学校では平成30年まで地域の方の協力をいただき、1・2年生がそばの栽培及びそば打ち体験をしてきました。
しかし、そばアレルギーの問題やコロナ禍などがあり約25年続いたそば栽培そば打ち体験は中止となりました。
昨年度、関係者による話し合いを持ち、『学校と地域が連携して絆を深める媒体として・子ども達に収穫体験の場』を提供したいとの思いが一致しました。
その後、関係組織や地域の方の支援をいただく中で、子どもたちのため、新たな一歩として「サツマイモ栽培」を行うことと致しました。

**サツマイモ栽培
はじめました**

**待ちに待った
収穫祭**

子どもたちの顔ほどもある大きなサツマイモがごろごろ出てきたのには驚きました。豊作です。

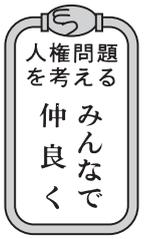
地域の関係者を中心に進めてまいりましたサツマイモ栽培、収穫体験の事業が、11月11日(土)多くの親子の皆様にご参加いただき収穫祭という形で無事終了しました。

地域と学校が連携しながら子どもたちと一緒に収穫体験の機会をつくりたいと行ってきましたサツマイモ栽培は、畑周囲の草刈り作業が大変でしたが計画通りに進めることが出来ました。

初年度の今回はサツマイモ栽培でしたが、草だらけだった畑に蒔いたひと粒の種を絶やすことなく育てていきたいと思います。今後、もっと多くの皆様に参加を呼びかけ、子どもたちと地域の方々との交流の場になっていってほしいと思います。地域の皆様、関係者の皆様ご指導ご協力ありがとうございました。

(上片桐子ども会育成会長

林 昌典)



松川中央 小学校

毎年11月に『なかよし旬間』という期間を設定し、日々の友だち関係を見つめ直したり、自分たちの身の回りにおける人権問題に関心を寄せ、差別や偏見をなくするための学びを行っています。

① 『なかよしの木』

児童会・生活ふれあい委員会が中心となり、友だちのいい所や頑張っている所を葉や実に書いて『なかよしの木』に貼っていく活動です。いい所を伝え合うことを通して、友だちを多角的に捉えられる機会となり、より仲良くなったという成果も見られました。お昼の放送で葉っぱの紹介もしてくれて、書いた人も発表された人もとても嬉しそう、暖かい時間が流れました。

② 授業参観

6年生は人権に関わった授業参観をしました。題材は『権利の熱気球』。どれも大切な14の権利を乗せた気球が乱気流に巻き込まれ一つずつ捨てていかなければいけない。その場面において、自分にとって何を大事な権利として残すか、そして、友だちにとっての大事な権利は自分とは必ずしも同じではなく、違うことも知る。多様な考えを受け入れる感覚を養っていくことができたと思います。

③ 車いすバスケット体験

4年生は、パラリンピック選

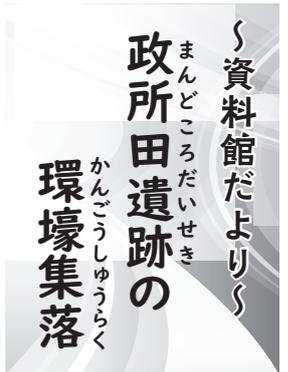
手加藤正さんを講師に招き、車いすバスケットの体験会を実施しました。「難しそうと思っていただけ実際やってみたら楽しかった。」「障害のある人はできないこともあるけど、その人ができることがある。』『できる・できないか』ではなく『やるか・やらないか』が大事。」など、感じたこと・考えたことがたくさんありました。

④ 『吃音』についてのお話

中央小学校には「ことばの教室」があります。言語、特に発音に関して支援が必要なお子さんが通級されていますが、言語障害の一つ「吃音」について理解を広げたいという趣旨で、「ことばの教室」の桐生恵子先生が1年生にお話をしてくださいました。練習をしても治るものではないこと、笑わないで最後までゆっくり聞いてほしいことなど、まず「吃音」という障害を知る第一歩となりました。

⑤ 姉妹学級で交流活動

1・6年生、2・5年生では、姉妹学級が計画して交流会を実施しました。4年生は、校内展で展示してある3年生のペアの人の作品にコメントを書いてプレゼントする活動を実施しました。日頃から、休み時間に遊びに誘ってくれたり、困っていたら声をかけてくれたりと、優しい高学年がいっぱいいます。12月には『けやき集会』という児童会のお祭りがあります。そこでも、姉妹学級の仲を深めてほしいと願っています。



資料館だより 政所田遺跡の環境集落

まんどころだいせき かんこうしゅうらく

教育委員会では、昨年8月から政所田遺跡の発掘調査を実施しています。今回の調査によって、周辺地域では例のない特殊な遺構が見つかり、研究者からも注目を集めています。今回は約5か月間の調査の成果を一旦先にご紹介します。

政所田遺跡は、平成25年度の名子中央保育園建設に伴う調査によって見つかった遺跡で、縄文時代から鎌倉時代までの複合遺跡です。付近には中世の在地領主、名子氏の城館跡があり、

一帯は古代末から中世前半にかけてこの地域の中心地であったことが知られています。第二次発掘調査となる今回は、国土交通省天竜川ダム統合管理事務所の遠隔操作棟移設工事に伴って遺跡の保護協議が行われ、昨年3月に試掘調査を実施、8月から本調査を開始しました。これまでの調査で縄文中期から古墳時代にかけての住居跡16棟が確認されています。主体となるのは弥生時代から古墳時

代（3世紀から4世紀）にかけての集落跡で、弥生時代終末期10棟、古墳時代初期4棟の住居跡が見つかっています。さらに、今回の調査で最も注目されるのは、弥生時代から古墳時代にかけての環壕の一部と環壕集落内で見つかった総柱建物跡です。

環壕集落とは、周囲に掘（空堀）を巡らせた集落のことで、弥生時代から中世にかけて各地でつくられました。環壕には集落の境界や防衛的な役割があると考えられています。



集落を囲む環壕

政所田遺跡で確認された環壕跡は深さ2m以上のV字型で、溝の底からは年代の特定できる甕や壺、高坏などの土器や石包丁などの石器が出土しました。これらの遺物の年代から、環壕としての役割を果たしたのは3世紀中頃から4世紀中頃までのおよそ100年間と考えられます。このように時期や構造が明

らから、はっきりと環壕と断定できる遺構が検出されたのは南信地域では初めてで、11月18日に開かれた現地見学会では町内外の多くの方に関心をお寄せいただきました。



環壕内の総柱建物跡

さらに、環壕に平行して見つかった総柱建物跡は、環壕集落内で確認されたものとしては県内初の発見とみられます。

見つかった遺構は調査終了後埋め戻してしまいましたが、調査の様子や出土した遺構・遺物について知っていただけるよう、資料館窓口で調査成果をまとめ、資料館窓口で調査成果をまとめ、資料館を配布しています。また、来年度には調査成果報告会および展示会を行う予定です。どうぞご期待ください。 私たちのごく身近に貴重な遺跡は存在しています。この機会に資料館や町内の遺跡へ足をお運びいただき、古代のロマンに触れてみてください。

松が設置されてきたことをみなさんご存じですか？実はこれ、山崎公民館長がご自身で作られたものなんです

公民館の門松

1月6日まで、中央公民館の正面玄関でとても立派な門松が設置されてきたことを



す！
素晴らしい門松のおかげで公民館もステキなお正月を迎えることが出来ました。

松川学童野球クラブ 第34回喬木ラストコール杯 3位入賞！ (11月23日開催)

スポーツ



松川学童野球クラブ ○10-2 豊丘少年野球クラブ
松川学童野球クラブ ●4-10 南信州高森ベースボールクラブ
3位決定戦
松川学童野球クラブ ○11-8 鼎ブルーキングス

この工事、実は公民館駐車場スペースにマンホールトイレを設置できるようにするためのもの。マンホールトイレとは字のごとく、下水道本管に接続されているマンホールに簡易便器を設置し、トイレとする



何やら工事中 その真相は

年の瀬も迫った12月20日頃から、何やら公民館前で工事が始まりました。
アスファルトが剥がされ、シヨベルカーで何mもの掘削が行われていました。
この工事、実は公民館駐車場スペースにマンホールトイレを設置できるようにするためのもの。マンホールトイレとは字のごとく、下水道本管に接続されているマンホールに簡易便器を設置し、トイレとする

今年も！ クリスマスツリー！

12月の間、中央公民館ロビーにはクリスマスツリーを設置していただきます。
公民館に集まっていた小学生の力を借りて、飾り付けを行いました。
ツリーにはイルミネーションも施され、とても華やかで素敵なツリーとなりました。



公民館報まつかわ 700号記念 縮刷版第4集 (第501号~700号)の販売について

- ◆発行日：令和6年3月末
- ◆予定価格：11,000円(税込) ※送料別
- ◆代金支払：申込者へ業者から振込用紙が送付されますので、最寄りの郵便局にてお振込みください。
- ◆配本方法：縮刷版完成後、宅配便にて配本。もしくは中央公民館にて受け取り。
- ◆申込/問い合わせ：中央公民館 (36-2622) 二次元コードからも！ 龍共印刷株式会社 (22-5353)



B5版3冊組
ブックケース付き
※写真は見本です



第59回松川町公民館研究集会

「今こそ 松川の魅力 再発見!新発見!」

- ◆日時：令和6年2月25日(日) 午後2時~
- ◆会場：松川町中央公民館えみりあ
私たちの暮らす松川町の魅力について、改めてみんなで話しませんか？



一級印章彫刻技能士

久保田 光毅さん



今回、辰年ということで、表紙に龍の印が掲載されています。この印を制作した、久保田印房、久保田光毅さんをご紹介します。

初めに、龍の印についてお伺いしました。

この印は全国印章技術大競技会の木口密刻の部で銅賞を受賞された作品です。

今回の印には「思無邪」と刻まれており、「おもいよこ

しまなし」と読むそうです。意味を調べたところ、心が素直などの意味がありました。

この印の制作には約3か月の月日を要したとのこと、一度に彫れるのは、繊細な作業のため30分が限界とおっしゃっていました。

久保田さんは、一級印章彫刻技能士の資格を取得されています。資格試験は、6時間の時間内に彫刻する印の課題が与えられ、印を彫り、きれいに押印するといった試験です。

題材の書き込みに1時間、彫刻に4時間、きれいに押印するの1時間とのこと。

押印を演演していただきましたが、朱肉が湿度などに左右されたり、紙にかすれなどなく均一に押印するなど、熟練された技術が必要と感じました。

最後にこれからの展望についてお伺いしました。

「この地域にハンコ屋さん

は少なく、松川町になければ、飯田市や駒ヶ根市に行かないとハンコ屋さんがないので地域の人のために、商売を続けていきたいです。最近ではSNSを活用し、お店について発信しています。より多くの人にお店の存在、印ではイラストなど様々なデザインを彫ることができると嬉しく思います。」

す ぽと 再び活気！ 福与大収穫祭

地域を元気にしようという活動

する福与元氣村では、秋恒例の福与大収穫祭を開催しました。11月23日、会場の福与ふるさとふれあい館には、地元福与の皆さんだけでなく町内外から大勢の人たちが訪れました。

地元産の野菜や果物の販売では、福与保育園の園児たちによるサツマイモの販売も行

われしました。

共催する福与そばの会では、福与産のそば粉で作った手打ちそばを提供しました。特設ステージでは、風船遊劇団ゴンベエワールド（伊那市）のバルーンやマジックなどのショーが行なわれました。

子どもたちもよく知るキャラクターがバルーンでつくられると会場は大盛り上がりとなりました。

りとなりました。このほか、福与保育園園児のダンスや餅つき大会など、盛りだくさんの催しが行われました。

コロナ禍で4年ぶりの開催となり、再び活気に沸くイベントとなりました。



松川北小学校 1年

いまい ゆうと

うんどうかいがありました。かけっこで3いになりました。じゃんけんれつしゃがおもしろかったです。ダンスをがんばりました。たまいれでしろがまけてしまつたけど、つきはがんばります。

きたじま かなと

うんどうかいがありました。かけっこで、じんくんとはるさんとはまりました。ほくは3いでした。とくてんは、

しろ12、あか15でんでした。しろがまけてしまいました。

まつ下 こつき

うんどうかいがありました。リレーで1いになりました。ほくがりれーで1いになつたから、おかあさんがないていまし。こうかダンスがおもしろかったです。しろがまけてくやしがつたです。



短歌 新春五首

細江シヅエ（堤原）

つつがなく明けし新年と思いきや

地震、火災の大惨事なり

惨を見し眼鏡も拭いぬ吾を

ひと日支えくれたるもろもろ外す

神棚に手の届かない吾となりぬ

女孫は他県へ進学決める

閉鎖感どりのぞかんと

三遠南信、リニア工事に変わりゆく伊那谷

募金箱の先想いつつ祈りつつ

募金なしたりほとけ心に



名子地区クラブ発表 区民演芸会開催

名子地区公民館では、クラブ発表・区民演芸会を11月11日・12日に開催しました。

コロナ禍でも演芸発表をテレビ開催するなどイベントそのものは中止せずに続けてきましたが、町民体育館を会場に有観客で行ったのは4年ぶりのことです。

展示発表は11日～12日に行い、演芸会は12日にトレーニングルームで開きました。

演芸には保育園児や小学生、名子区内の自治会や、町内で活躍する各種グループなど12組のみなさんが出演し、音楽やダンスなどを披露しました。

会場では名子地区公民館役員の皆さんが食べ物や飲み物を販売し、訪れた皆さんはおでんや五平餅などを味わいながら演芸を楽しみました。

久しぶりに人が集まったの開催となりましたが「予想以上に大勢の人たちが集まってくれた」と役員の方は話していました。

まさに大勢の区民が集まり親睦を深めた地区の行事となりました。



大人気の抽選会



華やかな衣装が人目を引く



皆さんの力作が並ぶ



会場も一体となって



子ども達もいっしょに



店舗の横をライトアップ



J A松川支所入口を紫色に

こういった形で活動に参加させていただきましたが、この運動が多くの方に広がっていくといいなと思います。(セブナイレブ松川町役場前店オーナー)

JAも中期計画に「男女共同参画の推進」を掲げており、この活動に賛同しました。視覚的に訴えて、地域住民の理解を広めたい。組織全体の意識向上にもつなげたい。(JAみなみ信州松川支所長)

※パール ライトアップに協力

※女性に対する暴力根絶のシンボルであるパールリボンにちなみ、紫色にライトアップする活動。例年11月に内閣府等の主催する「女性に対する暴力をなくす運動」期間に合わせ、全国的に実施される。

2025年

元日 初日の出を拝み一年の無事を願いお茶と歯固めの柿をいただき新年を迎えた。

その数時間後、能登地方を震源とする大地震が発生、テレビに速報が流れた。数秒後町内にも、大地震です。の放送が流れ帰省中の孫たちも頑丈なテーブルの下に潜り込んだ。すべてのテレビ局が地震発生速報に切り替えられた。願うばかりだった。2日には羽田空港内での飛行機事故、幸いにも旅客機側の搭乗者は脱出して無事であったが、地震被災地に物資を運ぶ機体の乗員は亡くなる悲惨な事故となってしまった。

命を守る判断と行動、ちよつとしたミスが大惨事となる教訓を改めて教えられた2日間であった。

年明け早々激動の幕開けとなりましたが平穏な1年を願うばかりです。

公民館長 山崎 隆

公民館報
「まつかわ」
第722号
令和6年1月15日
発行所 松川町公民館
責任者 山崎 隆
編集人 公民館編集部
Tel 36-2622
e-mail: c.kouminkan@town.matsukawa.lg.jp
飯田市上郷黒田121
印刷所 龍共印刷株式会社
再生紙を使用しています。